

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 8 月 14 日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 森 原 和

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 9 月 3 日 午前 9 時 00 分から 令和 8 年 9 月 10 日 午後 4 時 30 分まで
開札期日	日 時 令和 8 年 9 月 17 日 午前 10 時 00 分 場 所 岡山地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 10 月 8 日 午前 10 時 00 分 場 所 岡山地方裁判所第3民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 8 月 14 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------|
| 1 | 所 在 | 玉野市山田字北原地 |
| | 地 番 | 4 6 0 番 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 4 1 3 . 0 0 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 玉野市山田字北原地 4 6 0 番地 |
| | 家屋 番号 | 4 6 0 番 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 7 6 . 0 0 平方メートル |
| | (現況) | |
| | 種 類 | 居宅・店舗 |



物 件 明 細 書

令和 8年 6月 12日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 岸 野 孝 昭

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

居宅部分を本件所有者が占有している。

店舗部分を有限会社せとふじが占有している。同社の占有権原は使用借権と認められる。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみが簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ



ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



11

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------|
| 1 | 所 在 | 玉野市山田字北原地 |
| | 地 番 | 4 6 0 番 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 4 1 3 . 0 0 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 玉野市山田字北原地 4 6 0 番地 |
| | 家屋 番号 | 4 6 0 番 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 7 6 . 0 0 平方メートル |
| | (現況) | |
| | 種 類 | 居宅・店舗 |



令和8年(ケ)第10号
令和8年3月23日受理
令和8年4月24日提出

現況調査報告書

岡山地方裁判所

執行官 石 岡 伸 治

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------|
| 1 | 所 在 | 玉野市山田字北原地 |
| | 地 番 | 4 6 0 番 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 4 1 3 . 0 0 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 玉野市山田字北原地 4 6 0 番地 |
| | 家屋 番号 | 4 6 0 番 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 7 6 . 0 0 平方メートル |



(2 枚目)

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件2 関係)		
占有範囲		☐ 全部 ☒ 店舗部分約36㎡ (建物間取図参照)
占有者		☐ 債務者 ☒ 有限会社せとふじ(岡山県玉野市山田484番地1)
占有状況		☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☐ 居宅 ☐ 事務所 ☒ 店舗 ☐ 倉庫 ☐
■関係人(■A(所有者兼占有者会社代表者) ☐ ())の陳述／ ☐ 提示文書()の要旨		
占有権原		☐ 賃借権 ☒ 使用借権 ☐
占有開始時期		令和 4年 月 日ころ
最初の	契約日	年 月 日
契約等	期間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし
更新の種類別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新
現在の	期間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし
契約等	貸主	☒ 所有者 ☐ その他の者 ()
当事者	借主	☒ 占有者 ☐ その他の者 ()
賃料・支払時期等		毎 金 円 (毎 限り 分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)
敷金・保証金		☐ ない ☐ ある (☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐
その他		
執行官の意見		☒ 上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (債務者兼所有者)	1 物件2の建物（以下「本件建物」という。）の居宅部分には、私と息子の2人で住んでいます。そして、店舗部分は、私が代表者をしている有限会社せとふじが、店舗として無償で使用しています。 2 その他、本件建物につき、何人とも賃貸借関係はありません。 3 本件建物を増築したことはありません。 4 本件建物につき、特に雨漏り等の大きな損傷箇所に気付いたことはありません。 5 物件1の土地（以下「本件土地」という。）と隣接土地所有者との間で境界等について、特に争いはありません。なお、本件土地の東角付近及び西角付近にはそれぞれ電柱があり、中国電力から賃料をもらっています。 以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 本件建物の外観及び本件各土地の状況は、写真1ないし3のとおりである。
- 2 本件建物内の状況は、写真4ないし12のとおりである。
- 3 本件建物は、関係人の陳述のとおり、居宅部分は債務者兼所有者Aとその家族が、店舗部分は有限会社せとふじが無償で店舗として使用していることが認められた。なお、本件土地北東付近には店舗のための冷蔵庫、仮設物置、仮設テントが存する（土地建物位置関係図参照）。
- 4 本件建物の店舗部分の南側には下屋が存するが、建物と一体となっている（土地建物位置関係図参照）。
- 5 その他、本件土地建物は、関係人の陳述に沿った状況がうかがえ、その他第三者の占有はうかがえない。
- 6 間取り
別紙建物間取図のとおり
- 7 接面道路
本件土地の南側が県道に接している（土地建物位置関係図、写真1、2参照）。なお、西側は市道に接しているが段差が存する。

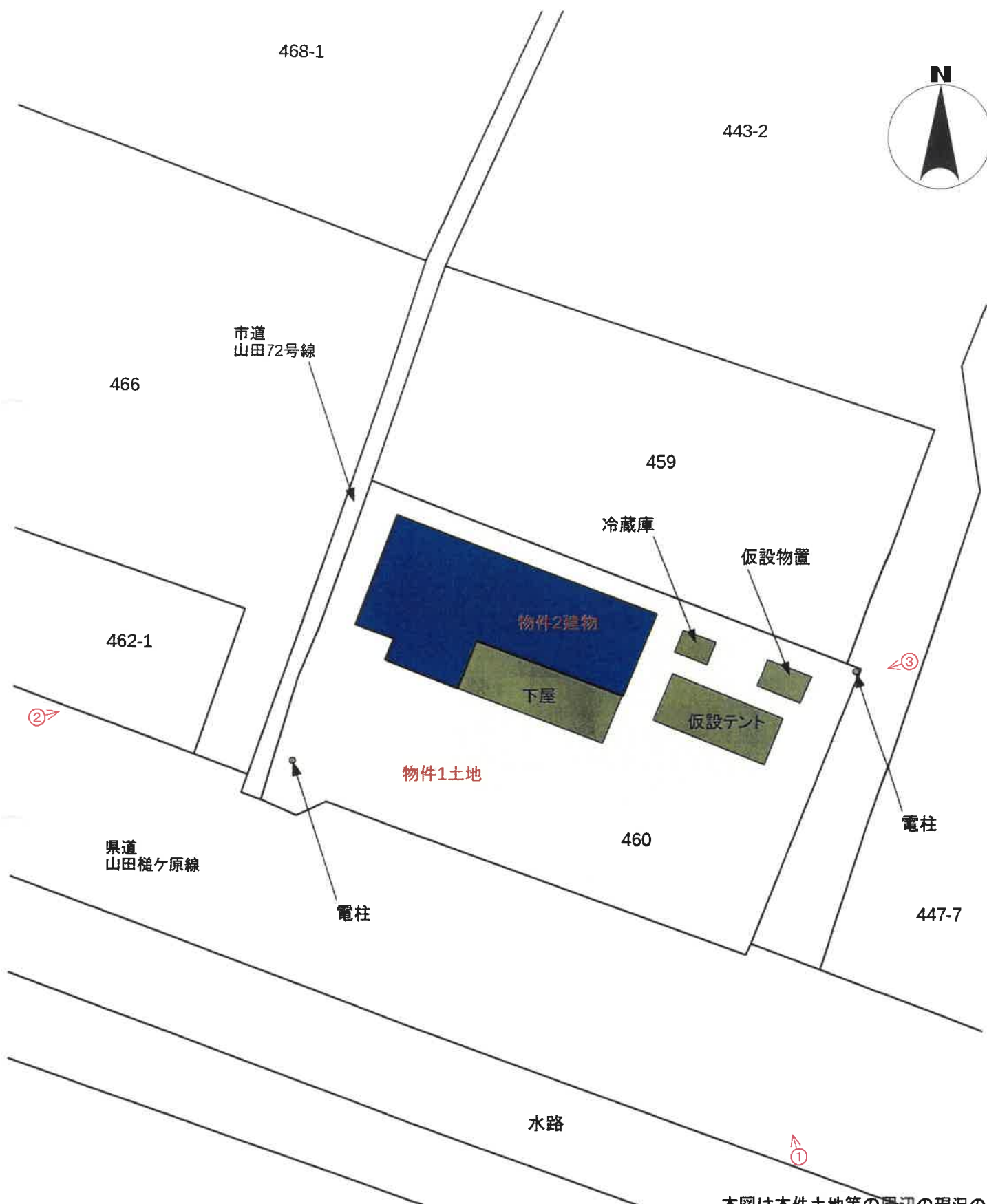
以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
8 年 3 月 24 日 (火) 9 : 15 - 10 : 00	岡山地方法務局	公図閲覧, 地積測量図, 建物図面, 登記事項要約書交付申請
8 年 3 月 25 日 (水) 10 : 20 - 11 : 00	物件所在地	物件確認, 占有調査, 形状調査, 写真撮影
8 年 3 月 25 日 (水) : - :	当庁執行官室(郵便)	債務者兼所有者に対し求陳ㄥ切 4/3 (郵券110+110)
8 年 4 月 6 日 (月) : - :	当庁執行官室(郵便)	立入調査期日通知 4/16 13:00(郵券110)
8 年 4 月 16 日 (木) 12 : 30 - 13 : 20	物件所在地	評価人同行, 立入調査, 占有調査, 形状調査, 写真撮影 債務者兼所有者 A から聴取
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人 を立ち会わせ, 技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

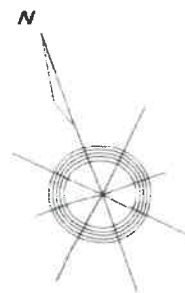


本図は本件土地等の周辺の現況の概略を図示したものであり、形状・規模等の詳細な資料ではない

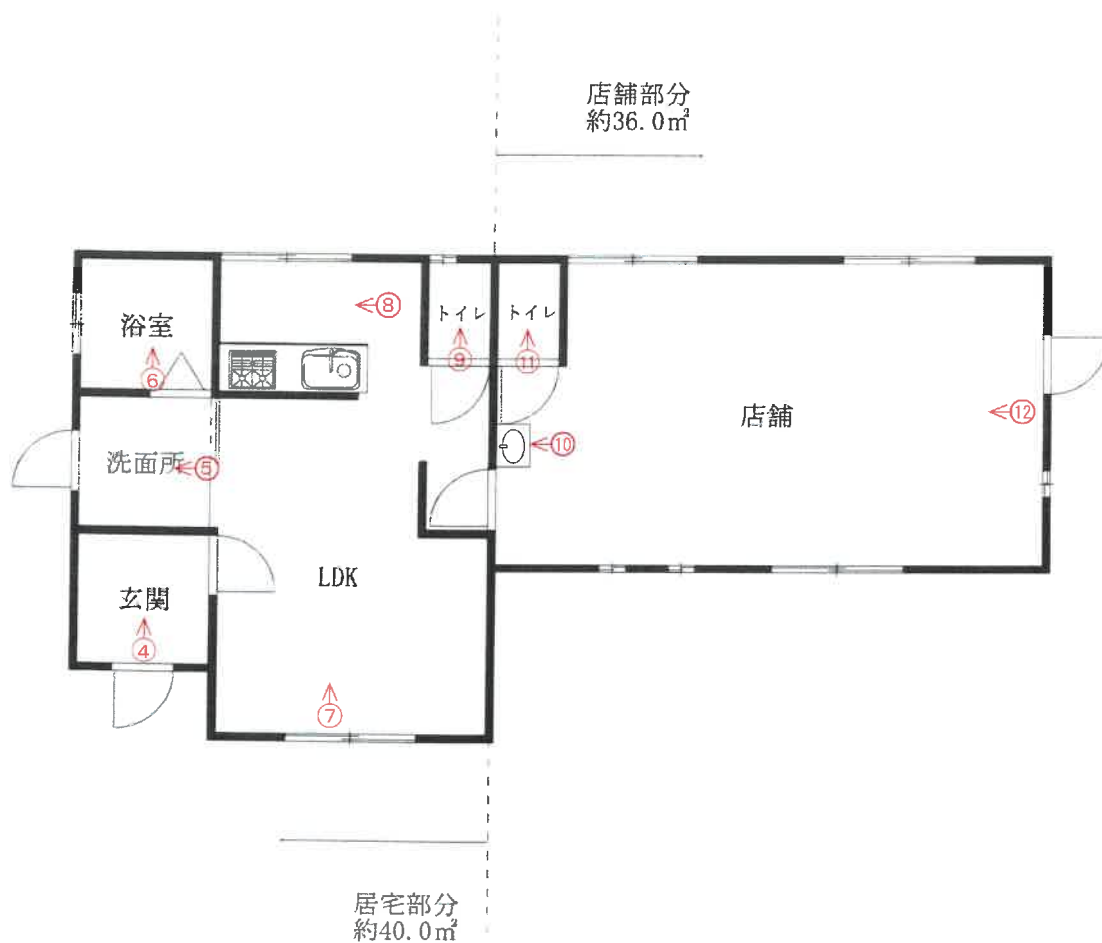
↑ 印は写真撮影位置
○ 方向写真番号

建物間取図

(物件2建物)



1階



↑ 印は写真撮影位置
○ 方向写真番号

(8枚目)



写真 4



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9



写真 1 0



写真 1 1



写真 1 2



評 第 1319 号
令和8年 (ケ) 第 10 号
令和8年4月16日 現地調査
令和8年5月1日 評 価

岡山地方裁判所 第3民事部 御中

評 価 書

評価人 浮田 幹夫

第1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1～2)	土地建物	金 12,194,000 円
内訳価格	1	土地	金 3,129,000 円
	2	建物	金 9,065,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不具合には担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件番号	種類	所在等	登記	現況
1	土地	所在地 番地 目録	玉野市山田字北原地 460番 宅地 413.00 m ²	概ね同左。
2	建物	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	玉野市山田字北原地 460番地 460番 居宅 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 76.00 m ²	種類は居宅・店舗である。その他の事項は概ね同左。
物件番号	特記事項			
-				

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等 (物件1)

位 置・交 通	JR宇野 線 備前田井 駅 の 北東 方直線約 5,400 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	玉野市北東部郊外の山田地区に位置し、県道沿いに一般住宅、共同住宅等が見られる住宅地域を形成している。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 : 市街化区域 用途地域 : 第1種住居地域 建 ぺ い 率 : 60% 容 積 率 : 200% 防 火 規 制 : 無 その他の規制 : -	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 413.00 m ² 間 口 : 約 25.5 m 奥 行 : 約 16.0 m 形 状 : 略長方形 接面状況 : 中間画地 (西側市道は高低差あり効用なしと判定) 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位: 南 幅 員: 約 9.0m 舗 装: 有 種 類: 県道 高低差: 略等高 摘 要: 42条1項道路 山田樋ヶ原線	
土地の利用状況及び隣地の状況等	物件1土地は物件2建物の敷地として利用されている。隣地は住宅等である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 有 ガ ス 配 管 : 無 下 水 道 : 有	※供給処理施設における「有」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	北東端と南西端に電柱があり、北東部に冷蔵庫、仮設物置、仮設テントがある。	

2 建物の概況及び利用状況等

(物件2)

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日 : 令和3年11月頃 (登記上) 経 過 年 数 : 4 年 経済的残存耐用年数 : 21 年 (主体部分) 増 改 築 時 期 : -
仕 様	外壁 : 着色メッキ鋼板等 天井 : クロス張り等 内壁 : クロス張り等 床 : フローリング、コンクリート土間等 その他: -
建 物 の 品 等	中並品等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書記載のとおり
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	居宅部分の床面積は約40㎡で店舗部分の床面積は約36㎡である。南東側に下屋がある。

第5 評価額算出の過程

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A 地域)

種 別 : 住宅地
 街路 幅員 : 約 9.0m
 地 積 : 約 300 m²
 間口・奥行 : 約20m×約15m
 形 状 : 略長方形
 高 低 差 : 略等高
 接面 状況 : 中間画地
 そ の 他 : -

地域符号	公示価格等 (円/㎡) ア	時点修正 イ	標準化補正 ウ	地域格差 エ	規準価格等 (円/㎡) オ	標準画地価格 (円/㎡) カ
	21,100	$\frac{99.7}{100}$	$\frac{100}{104}$	$\frac{100}{89}$	22,700	22,700
A	公示地 玉野-6	公示価格 等の価格 時点から 評価日ま での推定 変動率で ある。	公示地等 の画地条 件を標準 的なもの に補正した。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮の うえ査定した。	オ:ア×イ×ウ×エ	規準価格等を参考に周 辺取引事例等を検討の うえ査定した。

ii 建付地等の価格

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
	22,700	1.060	1/1	413.00	0.90	8,940,000
1	A地域	接道方位 1.06 相乗積 1.060	-	登記数量	地域との適合性・ 敷地との適応性 等を考慮のうえ 査定した。	カ:ア×イ×ウ×エ ×オ

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分割合 イ	現況延床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
2 (主建物)	154,000	1/1	76.00	0.72420	8,480,000
	建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した標準的な建築費に比準して求めた。 - 登記数量 耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して査定した。				オ:ア×イ×ウ×エ
計					8,480,000

2 積算価格の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については土地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり積算価格を求めた。

① 土地価格及び底地価格

物件番号	建付地等価格 (円) ア	底地等割合				土地価格・底地価格 (円) エ:ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
1	8,940,000	-	法定地上権	1.000	0.50	4,470,000
		計	-	1.000	-	4,470,000

② 土地利用権等価格

物件番号		建付地等価格 (円)	土地利用権等割合				土地利用権等価格 (円)
建物	土地	ア	細符号	土地利用権等	イ 面積割合	ウ 権利等割合	エ:ア×イ×ウ
2	1	8,940,000	-	法定地上権	1.000	0.50	4,470,000
			計	-	1.000	-	4,470,000

③ 土地利用権等付建物価格

物件番号	建物自体の価格 (円)	土地利用権等価格 (円)	土地利用権等付建物価格 (円)
	ア	イ	ウ:ア+イ
2	8,480,000	4,470,000	12,950,000

④ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件番号	底地価格及び土地利用権等付建物価格 (円)	占有減価修正	市場性修正率	競売市場修正率	その他減価	積算価格 (円)
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	4,470,000	-	1.00	0.70	1.00	3,129,000
2	12,950,000	1.00	1.00	0.70	1.00	9,065,000
一括 (物件1～2)	17,420,000	-	-	-	-	12,194,000
	上記①②③参照。	必要なし	必要なし	不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ査定した。	必要なし	カ:ア×イ×ウ×エ×オ

II 収益価格の試算

対象不動産の所在する地域における賃貸借の動向、対象不動産の用途及び個別性等を考慮すると、対象不動産が賃貸借に供せられることは一般的であるとはいえない。従って、収益還元法を適用しなかった。

III 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地域符号 : A
番号 : 玉野-6
所在 : 山田字地藏本3021番8
価格 : 21,100 円/㎡
位置 : 備前田井7000m (道路距離)
価格時点 : 令和8年1月1日
地積 : 192 ㎡
供給処理施設 : 水道、下水
接面街路 : 南西4m市道
都市計画区分 : 市街化区域
用途指定等 : 1住居 (60、200)
地域の概要 : 一般住宅、農家住宅の混在する既成住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和 7 年度)

物件番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	6,484,100 円	
2	建物	5,807,220 円	

※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物図面写
- 4 土地建物位置関係図

以 上

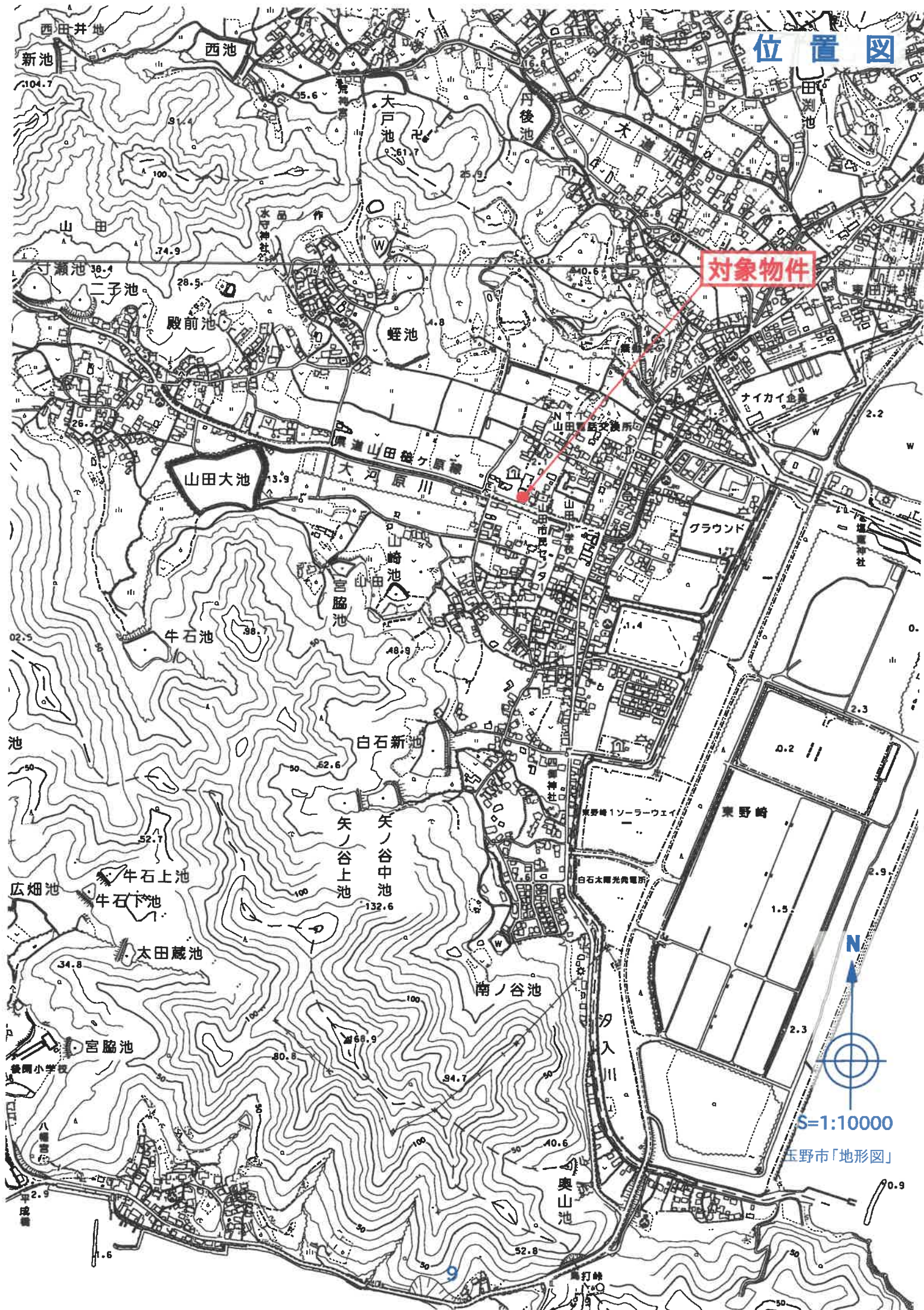
位置図

対象物件

N

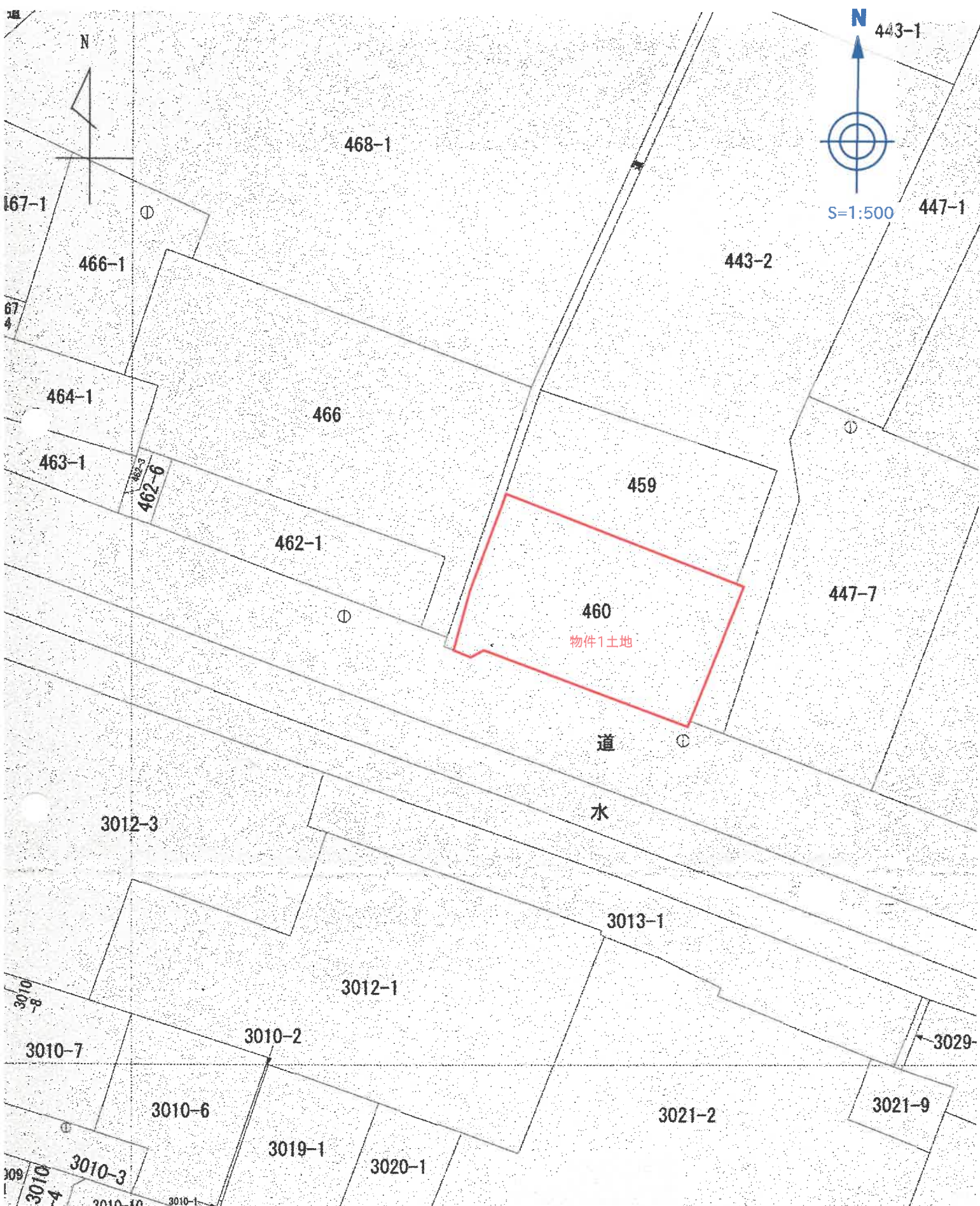
S=1:10000

玉野市「地形図」

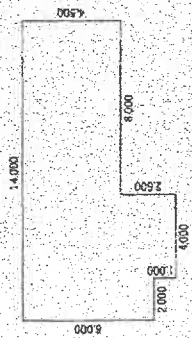


位置図





各階平面図



求積表

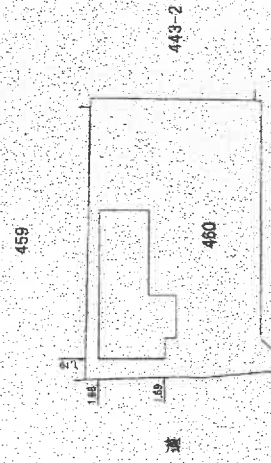
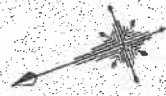
6,000 × 6,000	=	36,000,000
4,000 × 1,000	=	4,000,000
8,000 × 4,500	=	36,000,000
計		76,000,000

床面積 76.00 m²

建物図面図

家屋番号 460番

建築物の所在 玉野市山田字北原地460番地



作成者

縮尺 1/250
(令和3年11月24日作成)

申請人

縮尺

1/500

土地建物位置関係図



本図は本件土地等の周辺の現況の概略を図示したものであり、形状・規模等の詳細な資料ではない